

未来へ弾め、若き力！ 美しきチャレンジャー

誰もが楽しめるスポーツ環境づくり

現在、健康ふれあいの郷のグラウンド・ゴルフ場には毎日たくさんの方が訪れ、毎月行われる大会には200人近いプレイヤーが集まります。生涯スポーツとして人気の高いグラウンド・ゴルフをはじめ、年齢に応じて楽しめる様々なスポーツを、総合的にできる環境を整えたいと考えています。

今春、埴生小学校の跡地を利用し、スポーツ施設をオープンさせる計画を進めています。まずグラウンドを整備、その後については、グラウンド・ゴル

フ、フットサルなど、年代に合わせ楽しめる施設にしたい。駒ヶ谷では野球場の充実など、子どもたちが夢を抱きスポーツができる環境をつくりたい。

今回の特集は、多くの方に若いアスリートの活動を知っていただき、「僕も、私も、何かやってみよう。」というきっかけになればありがたいです。

スポーツを通じて豊かな生活を送ることが、健康づくりにもつながります。市民の健康寿命を延ばすことは、行政にとっても大切なテーマです。



羽曳野市長 北川 嗣雄



(仮称)中央スポーツ公園

わがまち羽曳野に暮らす

未来のトップアスリート6名が集ってくれました。

各年代それぞれの競技で 日本トップクラスの成績をお持ちです。

彼らの口から いとも簡単に飛び出す「世界」という言葉。

新年から市民の皆様へ元気を届けてくれる、希望に満ちた笑顔をご覧ください。





え ば た ひ で の り
江畑 秀範 (23) 大阪産業大学 3年
テコンドー歴 6年。全日本学生テコン
ドー選手権大会 4 連覇 (2012 年～)。
テコンドー日本代表選手として世界各
地で活躍中。



も り し た み さ き
森下 実咲 (16) 大阪学芸高校 1年
スケート歴 7年。第 35 回全国中学校
スケート大会出場 (フィギュア部門 8
位入賞)



く ろ お か み む
黒岡 水夢 (15) 高鷲南中学校 3年
クライミング歴 4年。全日本ユース選手権リード大
会 2015 (5位)、第 18 回 JOC ジュニアオリンピックカ
ップ大会 (3位)、第 70 回国民体育大会 陸の国わかや
ま国体 (リード部門 4位、ボルダリング部門 7位)



い ま が わ い く み
今川 育海 (14) 峰塚中学校 2年
なぎなた
雑刀歴 4年。JOCジュニアオリンピック
カップ第 23 回全国中学生なぎなた大会
(団体試合の部 4位)



ま つ も と ゆ り
松本 優里 (15) 誉田中学校 3年
ラグビー歴 11年。第 6 回全国中学生ラグビーフットボール大会出場 (準優勝)、大阪府女子選抜チ
ームとして姉妹ともに出場。小学 6 年生まで富田林ラグビースクールに所属。中学生以降、大阪ラグビー
スクールのレディースチームで、姉の優里は主将として 7 人制ラグビーの練習を行っている。走力
アップのため中学では陸上部でも活動する。



ま つ も と さ や か
松本 明華 (14) 誉田中学校 2年

若き夢は、羽曳野の夢。

スポーツは人間形成の場。

いろんなことをたくさん吸収してほしい。

少年時代から野球一筋。実業団の監督も務め 2 度の国体優勝を経験しました。みなさんを見て、当時を思い出しました。

どんなスポーツをしていても、その過程できっと悩み、葛藤するような時期があります。そんなとき、保護者の方は子どもたちにとっていちばん心の休まる存在。辛いときこそ励ましてあげてほしいし、お子さんのいいところをどんどん褒めてあげてほしい。

それにしても、羽曳野にこんなに多くのアスリートがいるとは全く知らなかった。みなさんがそれぞれのジャンルで輝くことで、そのスポーツもまた脚光を浴びることにもつながります。誰もが様々なスポーツに取り組みやすいまちにしたいと思います。

みなさんの今後が楽しみです。どんどん世界へはばたき、活躍する姿を見せてもらいたい。みなさんの夢は、羽曳野の夢でもあります。

羽曳野市議会 議長 **金銅 宏親**



江畑秀範 Ebata Hidenori

Taekwon-Do

テコンドーを始めたのは高校2年生。中学までしていた野球もやめ、学校とアルバイトだけの退屈な毎日が続きました。刺激がなく「何かしたい」という気持ちになり、以前から好きだった格闘技の中から、テコンドーを選びました。競技との相性というか、手ごたえのようなものを感じ、始めて2週間ほどでオリンピック出場が目標になりました。

そして今年はその出場を実現させる大事な年。4月に行われるアジア大会で2位以内に入ることが、リオオリンピックへの出場条件です。自信はあります。リオデジャネイロ、東京(2020年)、そしてその次も出場はもちろん、金メダルを狙います。その前に2月に全米オープン、3月に全日本選手権が控えているので、まずはそこで結果を出せるよう頑張ります。



森下実咲 Morishita Misaki

Figure skating

家族と休日に出かけた小学2年生の時に、スケートと出会いました。楽しくてすぐにスケートが好きになりました。テレビで見る浅田真央選手の活躍に憧れる気持ちが強まり、3年生から本格的な練習をはじめました。京都のリンクに練習に行くことが多く、始めた頃から片道1時間半を一人で電車通っています。まずは日本でトップ選手になることが目標。将来はコーチとしてトップ選手を育成できるようになるのが夢です。

■母の淳子さん：スポーツは教育の一環です。足腰の怪我が多いのは気がかりですが、楽しいことも辛いことも、多くの学びに親子で感謝しています。



今川育海 Imagawa Ikumi

Naginata

運動が苦手でも気軽に取り組めるようなスポーツを探していて、4年生のときに偶然知った薙刀に興味を持ち、道場に通い始めました。最初の2、3年はなかなか思うようにいかなかったけど、徐々に試合で勝てるようになり、更に楽しくなってきたところです。日本古来の武道の礼儀作法などを初めて知り、勉強にもなるし、同級生では、競技自体を知らない人も多いので、もっと薙刀を広めたいです。

■母の康子さん：娘に続き、私も始めました。薙刀はとても息の長いスポーツ、いつまでも続けてほしいですね。



黒岡水夢 Kurooka Mimu

Climbing

小さい頃から登るのが好きで、5年生のときにクライミングを始めたから、すっかりハマってしまいました。初出場の試合で近畿3位になれたこともあったからか、競技を始めた当初から“勝ち”を意識しています。目標は、ワールドカップ。勉強との両立はもちろん大変ですが、ジュニアオリンピックカップでも順位を上げてきているので、今

後もどんどん上を目指します。また、現在クライミングが東京オリンピックの追加種目候補に選ばれているので、新たな目標も生まれることになりそうです。

■母の真弓さん：メジャーでないスポーツゆえ、親の負担も大きい部分はありますが、第一は本人の意思を尊重し、支えたいです。



Rugby football

松本 優里 Matsumoto Yuri

兄の練習について行き、私も…と軽い気持ちで、4歳でラグビーを始めました。中学生以降、ラグビーの面白みや試合に勝ったときの達成感など、奥の深さを感じるようになり、今後もっと本格的に取り組みたいと思うように。女子ラグビーはまだまだ人口が少なく、中高生だけでチームを組むのは難しいけど、次は近畿代表に選ばれるように、高校に行ってもがんばります。

松本 明華 Matsumoto Sayaka

3歳のときに、父・兄・姉の影響でスクールに入って、小学6年生までは男子と一緒にプレーしていました。遊びで楽しむぐらいだったのに、いつからかトライを決めたときの嬉しさや、試合に勝つ喜びを感じるように。来年こそは全国大会で優勝したい、そのために必要なことを着実にこなしていくつもりです。

■父の雅由さん：激しいスポーツなので、怪我はいつも心配ですが、続けてくれるのは嬉しいです。プレーし続ける限りはサポートしていきたいです。



子どもたちの基礎体力の向上には、家族のサポートも大事



羽曳野市教育委員会
教育長 高崎 政勝

中学生の体力・運動能力全国調査結果(平成26年度)の大阪府平均は、全国でも順位が低く、さらに羽曳野市は府内平均より少し下回っています。能力低下は就学前に運動する機会が減ったことが原因と聞き、危機感を抱きました。幼少期からスポーツを楽しむことは、基礎体力や集中力の向上にもつながり、チームプレーを学ぶことで、相手への思いやりも生まれます。

同調査で全国トップであった福井県は、小学生のスポーツ少年団加入率が23.2%と、全国平均の9.8%を大きく上回っています。どうやらそこには家族の支えが大きく関係しているようです。共働きの家庭が多くても、おじいちゃんおばあちゃんが送り迎えをするなど、家族のサポートが非常に大きく、その点は子どもたちがスポーツを続ける上でとても重要だと考えます。



新春特集 in 峰塚公園
「時とみどりの交流館」

・・・編集後記・・・

会場となった峰塚公園は、羽曳野のアスリートにとってトレーニングのメッカでもあります。この公園で自主練習を重ねたスポーツ少年少女らが、世界へ飛び立っていきます。

みなさんのお話から、「常識という殻を破り、スポーツを通して簡単に国境も越えていける」そんなパワーをいただきました。世界を舞台に活躍する姿が目に見えます。